

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	一般小売店〔生花〕（店長）	販売量の動き	・大型店舗がオープンしたり、送別会や卒業式が多かったため、販売量が増加している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・佐賀城下では先月から雛祭りがあり、多くの客が県内外から訪れ、商店街の売上増につながっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・気候が暖かくなったため、特に年配の方の小旅行が多くなり、来客数が増加している。
		商店街（代表者）	単価の動き	・催事などをやると、比較的単価が上がってきている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・売上そのものは大して増加してないが、客の動きが大変良くなってきている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・春物、婦人服の動きが良くなっている。
		百貨店（売場担当）	来客数の動き	・購買単価はやや悪化しているが、購買客単価はやや改善している。来客数、購買客数、販売数量がアップしている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・婦人衣料品（例えば春物のブラウス等）の単価がかなり上がってきている。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・競合店の閉鎖などが、相対的な売上増につながっている。
		衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・ウィンドウに飾ってあるものをすぐに試着し、かなり高額のもので「下さい」という客や、そんなに吟味しなくてもすぐに購入するという状況が見受けられる。
		衣料品専門店（経理）	来客数の動き	・来客数が増えており、また、高額なものを買っていく客も多くなっている。次の購買につながるような言葉をかけて帰っていく客も見受けれる。
		その他小売〔雑貨卸〕（総務担当）	来客数の動き	・家具やインテリアの展示会を開催したが、来客数が前年よりも多くなっている。
		高級レストラン（スタッフ）	お客様の様子	・客がたくさん入り忙しい日と、暇な日が極端に分かれてきているが、全体としてはやや良くなっている。
		一般レストラン（経営者）	それ以外	・現在650円くらいの安いランチをやっているが、その売上が少しづつ伸びている。また、宴会需要も伸びている。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・官公庁の発注工事や、民間の企画等が若干増えている。
変わらない		商店街（代表者）	来客数の動き	・近くの大型スーパーの開店により、人の流れが大きく変わり、来客数が減少している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・商圈範囲内にある大型店の出店と営業時間の延長、近隣駅前の利便性向上により、商店街への客足が遠のいている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・紳士服の売上は前年実績を確保しているが、記念品関連商品が数量、買上単価ともに減少しており、全体では依然として厳しい状況にある。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・来客数はやや低下傾向にあるが、高額品の動きがやや良くなっている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・ホワイトデー商戦などで見れば、客は期日が迫ってこないとなかなか購入していない。
		スーパー（店長）	単価の動き	・特に非食品の客単価が上がっていない。
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・近隣の大型スーパーが開店しても売上が思ったほど上がっていない。当社は営業形態が変わり、24時間営業しているが、昨年水準にやっと追いついてきている。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・客単価の動きが以前と比較してほとんど変わっていない。衣料品関連商品は若干低め、食料品はほぼ変わらないが、住関連商品は若干回復の兆しがある。
		スーパー（企画担当）	お客様の様子	・来客数は伸びているが、客単価は従来通り下がる傾向にある。食料に対する消費者の信頼感・不安感が払拭されておらず、依然として厳しい状況にある。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・景気が良い時は、飲食店のスタッフが客と一緒に食事に出ることが多かったが、最近はコンビニで弁当等を買って済ませるようになってきている。また、弁当も単価の低いものに需要がシフトしている状況にある。

		乗用車販売店 (社長)	単価の動き	・店頭買いをする客数に変化がない。
		旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・単価は相変わらず下がり続けているが、来客数や売上額が下げ止まりになっている。
		通信会社(営業担当)	販売量の動き	・ブロードバンド系の商品は3月末から問い合わせや申込みが増えているが、季節変動的要素であるため、全体としては変わらない。
		観光名所(職員)	来客数の動き	・観光施設については、入場者が前年比20%増となったが、客単価が下がっているため、どちらとも言えない。ゴルフ場においては前年より10%近く減少している。
		住宅販売会社 (常務取締役)	お客様の様子	・来客数はそう伸びないが、マンション需要を中心に契約率が高まり回復してきている。住宅金融公庫の制度変更前の駆け込み需要及び季節的要因ということを差し引けば、変わらない。
		住宅販売会社 (従業員)	単価の動き	・物件に対する問い合わせや来客数は増加しているが、契約まで至っていない。
		住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・来年度の住宅金融公庫の制度改正を控え、客の動きが若干良くなっているが、全体としては変わらない。
やや悪くなっている		一般小売店[青果](店長)	お客様の様子	・依然として高額商品の動きが鈍い。
		百貨店(売場主任)	競争相手の様子	・商店街でも閉鎖する店が続出している。
		百貨店(総務担当)	お客様の様子	・来客数の割には、買上率が低下している。
		百貨店(営業担当)	販売量の動き	・購買単価、購入の一品単価のともに落ちてきている。
		コンビニ(販売促進担当)	競争相手の様子	・次々に競合店が出店し、競争が厳しくなっている。
		タクシー運転手	単価の動き	・タクシー業界も他の業界のように値引きをしなければ客が取れない状態になっている。仕事の量は変わっていないが、売上が若干下がってきている。
		美容室(店長)	来客数の動き	・卒業や入学シーズンで少しは忙しくなる時期であるのに、客が増加していない。
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・資金力がある客とない客、高額物件を購入する客と低価格物件を購入する客、というように二極分化しており、営業展開がより難しくなっている。
	悪くなっている		衣料品専門店(店長)	お客様の様子
		乗用車販売店 (管理部長)	販売量の動き	・新車販売額が、前年同期比が75%くらいであることとあわせて、来客数の減少という現象が重なっている。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・3月は移動、退職があるので、二次会を期待していたが、若い方はカラオケボックスに行き、当店へは落ち着いて飲みたい人達が少人数で来るため、10人以上の団体客はゼロであった。来客数は3か月連続の前年割れとなっている。
		パチンコ店(店員)	競争相手の様子	・競合店で閉鎖するところが徐々に現れてきており、当店の来客数も減少している。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	家具製造業(従業員)	受注価格や販売価格の動き	・具体的に物件そのものが増えてはきている。物件の情報量自体が多くなっている。
		電気機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・リードフレーム関連の大手製造会社の動きが非常に活発になってきている。また、機械加工においても、包装機械部品等が動き出したということで、景気は多少上向いてきている。
	輸送用機械器具製造業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・特に輸出量が増加しており、残業を行う状況である。同業者も人材派遣等を利用して対応しているということである。	
変わらない	窯業・土石製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・公共事業の仕事量が増え、それなりの売上・出荷が見込まれる。しかし業界の状況は非常に荒れ含みで、価格競争がこれからかなり熾烈になりそうであるため、全体としては変わらない。	
	金属製品製造業(企画担当)	それ以外	・売上が減少しているため、給与カットを含めた様々なコストダウンで何とかしのいでいる状況にあり、厳しい状況は変わっていない。	

		建設業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・特に官庁工事において工事量の減少や、入札制度の改革等で受注が非常に厳しくなっている。仮に受注ができてても利潤が少なくなっている。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・半導体関係は少し上向きとなってきたが、食料品やその他の商品については、荷動きが依然として悪く、全体としては良くない。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・IT関連企業では、発注の中国シフトが加速している。
	やや悪くなっている			
	悪くなっている	不動産業（従業員）	取引先の様子	・資金繰りの厳しい取引先が多い。
		経営コンサルタント	受注価格や販売価格の動き	・酒販売店のコンサルタントをしているが、酒販売店は、よりコストを下げようということに目が向いている。特にホワイトリカーや氷砂糖が、酒税が上がっても昨年と変わらない価格が要求されており厳しい状態にある。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣料金の値下げ傾向はまだ続いているが、求人数の動き、派遣の需要が若干増えてきている。
	変わらない	民間職業紹介機関（支店長）	周辺企業の様子	・ユーザー企業の動きにほとんど変化がなく厳しい状況は変わらない。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・企業都合による退職者が増えている。
		求人情報誌製作会社（総務担当）	採用者数の動き	・取引会社約3000社に対するアンケート調査によると、新卒採用者数の全体数は、九州では昨年より8.2%減と2年ぶりのマイナスとなっており、新卒採用が0人の会社も57%を占めている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・一般の新規求人数が前年同月比で5か月ぶりに減少し、パートをあわせた全数においても、新規求人数が前年同月比で5か月ぶりに減少している。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・大手スーパーの破綻に加え、依然としてIT関係を中心とした製造業でのリストラが進行している。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・例年のような中途採用の動きが見られず、逆に倒産、閉鎖などによる人員削減の動きが目立ってきている。特に中高年層の離職率が高まっている。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	周辺企業の様子	・一段とパートの解雇が増えている。
	悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・当社では、3月末の退職者の受け入れが急増している。年代別では、若年層の増加が目立っている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・今年に入り、求人数の落込みが顕著になっている。それにつれて当社の売上も、今月は前年比20%以上減となりそうである。特に消費関連の求人の落込みに伴い、物流や製造の求人も減少している。訪問販売企業では、売れ行きの落込みに伴い採用に慎重になっている企業が多くなっている。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・高卒の採用内定者が昨年を下回っている状況で、今後もフリーター及び無職者が増加する可能性がある。